



真言密教の地底道場“田谷の洞窟”を訪ね歩く

2023. 09. 26

佐竹 三保子 記

当日は9:30 大船駅に集合し、バスで「洞窟前」に向かう。

今回のさがみ探訪のメインである田谷の洞窟（正式名：田谷山瑜伽洞）は定泉寺境内にあり、室町時代に開山した定泉寺より古く、鎌倉時代に鶴岡八幡宮を供奉する鶴岡八幡宮二十五坊の真言密教の僧侶の修行道場として発展した。

元は横穴式住居跡とも古墳跡とも言われ、修行僧侶によって堀削された人工の洞窟。洞窟内の天井や壁面には曼荼羅、十八羅漢、西国、坂東、秩父の巡礼箇所や石童丸などの仏教説話の他、足柄山の金太郎などの一般的な物語なども彫られている。

洞窟内は柔らかい地層（鎌倉石）にもかかわらず、湧水で壁面が湿潤、気温も年中16～17℃と一定なため、彫刻類は長い時間も欠落することなく、関東大震災にも耐えたが、その震災で洞窟の由来や歴史等を記した文書資料が散逸してしまい、詳しい事は分からなくなった。

当日は、定泉寺のご住職から洞窟の説明を受ける予定だったが緊急な法事が入ったため、残念ながら聴講不可となった。（※）

各自、木の燭台にロウソクを灯し洞窟内を巡行し、修行僧のノミ跡が残る謎めいた厳粛な宗教空間から、猛暑が続いた今夏、一時でも靈氣？冷気？を堪能して頂けたかと。

後三年の役で活躍した鎌倉権五郎景正を祭神とする藤沢市の宮前御霊神社から分霊勧請した田谷御霊社と長尾台御霊神社に向かう。長尾台は関東八平氏の一つ長尾氏の発祥の地と言われ、越後の上杉謙信（長尾景虎）はこの長尾氏の末裔にあたる。

玉縄城の出城だった長尾砦跡の坂を下り、最後の探訪地、黙仙寺と大船観音寺へ向かう。黙仙寺の本堂は、長い階段の先にあり、さらにシャッターで閉鎖され拝観できないので、希望者のみ担当役員が引率した。また、大船観音寺も過去に訪れた方も多いと判断し引率なしの自由拝観とした。大船観音寺前で、12:40に解散。

参加者から歴史上の人物や出来事が、今まで点であったのが探訪を重ねるうちに点が線で繋がって来たと、嬉しい感想を頂きました。（参加者42名）



【定泉寺】



【田谷の洞窟】



【黙仙寺】

（※） 定泉寺ご住職より『田谷の洞窟』の寄贈本を頂きました。
この本を会員に貸出（貸出期間、1週間程度）します。
ご希望の方は佐々木会長に申し込んでください。